

学校教育目標	～大きな夢 力いっぱい～ 夢と希望をもち 豊かな心でたくましく生きる子の育成
目指す学校像	～主役は子ども～「通いたい・通わせたい・働きたい」学校
重点目標	1 「主体的・対話的で深い学び」の実現 2 「心の教育」の充実(「いじめ防止」含む) 3 「地域とともにある学校づくり」の推進 4 「安心、安全で美しい学校環境」の実現 5 「学校の組織力」及び「教職員の指導力」の向上、働き方改革の実現

※重点目標は5つ以上の設定も可。重点目標に対応した評価項目は複数設定可。  
※番号欄は重点目標の番号と対応させる。評価項目に対応した「具体的方策、方策の評価指標」を設定。

達成度	A	ほぼ達成 (8割以上)
	B	概ね達成 (6割以上)
	C	変化の兆し (4割以上)
	D	不十分 (4割未満)

		学校自己評価				学校運営協議会による評価	
		年度目標		年度評価		実施日令和 年 月 日	
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	<現状> ○『「個別最適な学び」と「協働的な学び」の一体的な充実』の研究委嘱 (R6～8) を受け2年目である。R6 は教育データの蓄積に努めた。 ○全国学力・学習状況調査及びさいたま市学習状況調査、日常の単元テストの結果等から、知識技能(基礎学力)の定着に課題がある。 <課題> ○「個別最適な学び」を実現できるよう、データを効果的に活用するための研究 ○学びのポイントじしゃくに対する教職員の意識向上と「教える」から「学ぶ」への意識変革	・「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善 ・全国学力・学習状況調査及び市学習状況調査の結果等を踏まえた教育の推進	① 「学びの指標」を踏まえた学習者が主体的に学ぶ授業を実現する。 ② 研究委嘱を活用し、スクールダッシュボード導入に伴うエビデンスに基づいた効果的な指導法を研究する。	① 「学びの指標」前期→後期での向上 ② 指導者を招聘した研究授業の実施年間3回以上 ③ 学校評価(教職員)関連項目肯定的回答90%以上			
		・全国学力・学習状況調査及び市学習状況調査の結果等を踏まえた教育の推進	① 教育研究所の学力向上カウンセリング研修等の活用とポートフォリオを意識した授業改善を推進する。 ② 木曜研修時間を2コマ設定し研修及び教材研究の時間を確保する。	① 学力向上カウンセリングの受講と全教員によるポートフォリオの見直し ② 計画的、組織的な研修の実施 ③ 学校評価(保護者)[学力][コミュニケーション]肯定的回答 90%以上			
2	<現状> ○長欠(傾向含む)児童約10% ○[相談できる先生や友達がいる]学校評価(児童)R6 90.6% 全国学調82% ○[自分にはよいところがある]全国学調91% 市学調1年以上80%台 ○「いじめ見逃し0」をスローガンに、いじめの積極的認知を行っている。令和6年度いじめ認知件数27件 <課題> ○長欠(傾向含む)児童が多いこと ○自信がなく、自己肯定感の低い児童が多いこと	・「自己肯定感」の向上を目指した教育相談体制の充実 ・発達支持的生徒指導体制の充実	① SC, SSW, SL 及び関係諸機関との情報共有と連携を徹底する。 ② 本校 SoLa ルーム体制の周知及び一人ひとりの状況に応じた活用の充実を図る。	① 学校評価(児童)「相談できる先生や友達がいる」肯定的回答率の向上 ② 長欠(傾向含む)児童割合の減少			
		・発達支持的生徒指導体制の充実	① 凡事徹底、迅速・誠実・アフターケアの対応をする。 ② 事案発生時には、複数体制で即日対応し、「報告・連絡・相談・見届け」と管理職の確認を徹底する。	① 学校評価(教職員)関連項目の肯定的回答90%以上 ② 学校評価(保護者)[一人ひとりの子どもを大切に教育]肯定的回答90%以上			
3	<現状> ○コミュニティ・スクール6年目 ○R6 第1回学校運営協議会において、育みたい児童の姿を「自分の居場所を作れる子」とした。第2回に児童会三役が参加した。 ○SSNは実質2年目であり、育みたい児童の姿を各団体の視点から目指した。 ○PTA や地域では後継者問題がある。 <課題> ○地域でも挨拶のできる児童の育成 ○適切な情報発信	・協働的継続的な取組に向けた、学校運営協議会とSSNとの協働体制の強化 ・意図的・計画的で誠実な情報発信、受信、フィードバックの実施	① 児童の自律につながるコミュニティ・スクールへと成長を図るため、学校運営協議会とSSNが協働した取組を行う。 ② 学校HP掲載による家庭地域への情報提供を行う。 ③ 学校運営協議会へ児童を参加させる。	① 学校評価(保護者、教職員)関連項目の肯定的回答90%以上 ② 学校HP内の学校運営協議会及びSSNのページ年間3回以上の更新			
		・意図的・計画的で誠実な情報発信、受信、フィードバックの実施	① 学校だよりや学校安心メール、学校公開等の機会を活用し、事前の丁寧な情報発信や、こまめな学校評価の実施、確実なフィードバックを行う。	① 地域と連携した学校公開の設定 ② 学校評価(保護者)[情報発信]肯定的回答率の向上と[適切な対応]肯定的回答率の維持			
4	<現状> ○校舎内外で老朽化が進んでいる。 ○樹木伐採や除草等を計画的に行っている。 ○保護者ボランティアや親父の会と連携した愛校運動が定着している。 <課題> ○老朽化の進行 ○主任を通じた校内掲示の見える化	・安心、安全で美しい学校環境の整備 ・計画的な予算の執行	① 教職員による計画的な安全点検の実施と、修繕の際には最後まで見届けをする。 ② 校内掲示の定期的更新 ③ 保護者ボランティアや親父の会と連携して愛校活動を行う。	① 定期点検の毎月実施、改善個所の迅速な修繕 ② 学校評価(教職員)関連項目肯定的回答率の維持 ③ 学校評価(保護者)[教室環境の整備]肯定的回答90%以上			
		・計画的な予算の執行	① 優先順位を見極め、計画的な予算の執行を図る。	① 予算執行率95%以上			
5	<現状> ○学校評価(教職員)[チームワーク]肯定的回答94% ○教職員の勤務時間外在校時間R6 45時間弱 ○経験年数の浅い教職員が多い。 <課題> ○キャリアの良さを生かした組織力向上 ○年間を通じたメリハリのある働き方	・主体的で機動力のある「学校の組織力」及び「教職員の指導力」の向上 ・児童と向き合う時間を確保するための働き方改革の実施	① 組織力・指導力向上のため、計画的に教職員研修を実施する。経験年数の浅い教職員にはOJTを実施する。 ② キャリア及び組織内の役割に応じて、適切に指導、助言、環境調整をする。	① 2学期末までに一人2回以上授業公開 ② 校内コーチング研修会の実施			
		・児童と向き合う時間を確保するための働き方改革の実施	① 運営委員会後に業務改善検討委員会を開催し、些末なことでも働き方改革を積み重ねる。 ② 年間を通して、学校行事及び会議等の時間と内容の見直しを図る。	① 4月→12月における在校時間の縮減 ② 運営委員会後、業務改善委員会の設定			

学びの質の向上に関する取組

心のサポートに関する取組

地域とともにある学校づくりに関する取組

教育環境の整備に関する取組

教職員のキャリア形成に関する取組

学校運営協議会からの意見・要望・評価等